

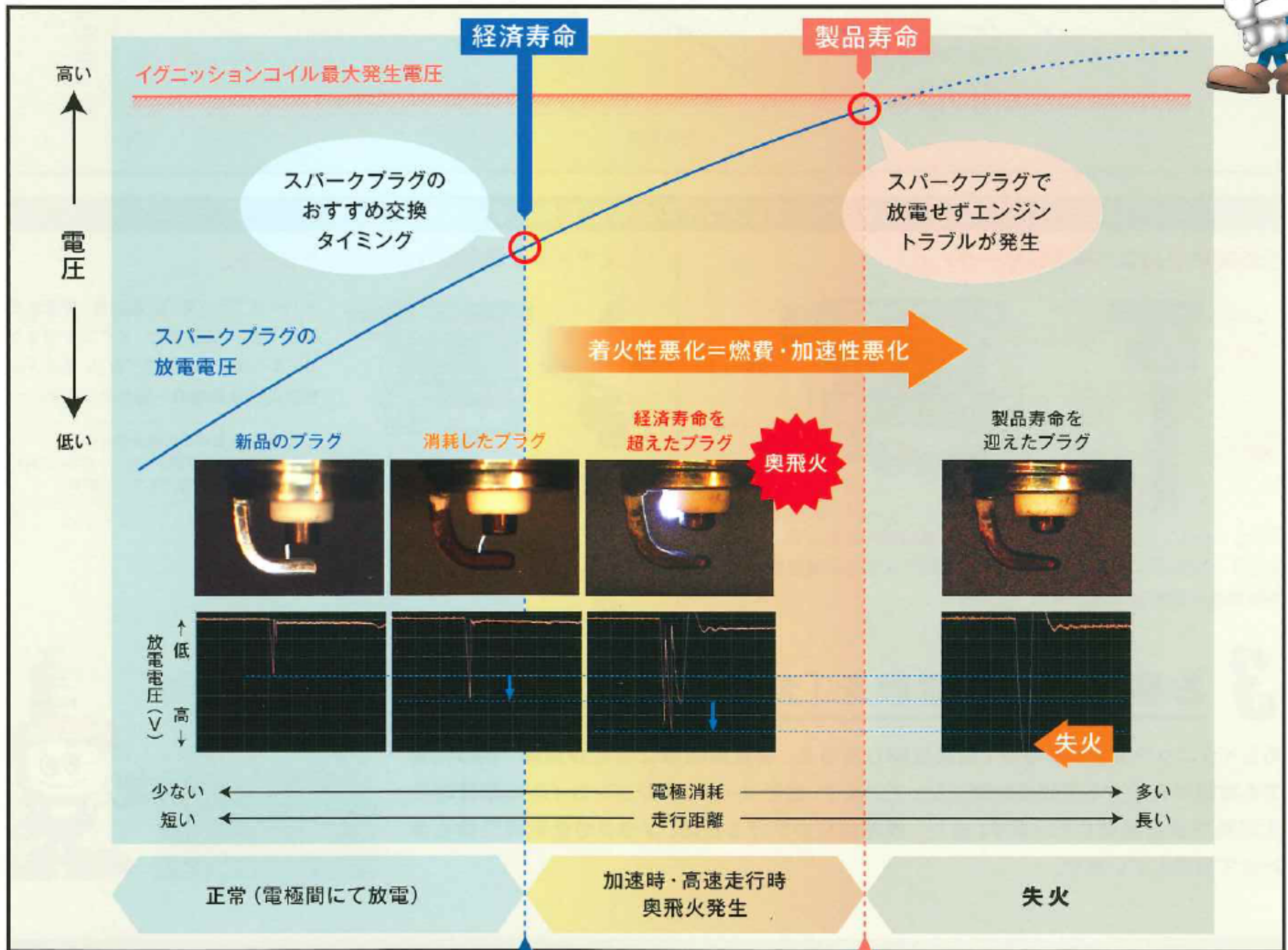
1 「経済寿命」での交換がエンジントラブルを予防

お客様のスパークプラグを点検する際、写真のような痕に気がついたことはありませんか？これは正常な火花が飛んでいない時（奥飛火時）に見られる火花リーク痕です。



奥飛火が発生すると、燃費・加速性が悪化する為、火花リーク痕があれば、交換をお願いします。

火花リークの痕、見たことがあるなあ



経済寿命は当社の推奨する交換目安距離に相当します。
当社の推奨する交換目安距離は経済寿命を表わしています。※1

	一般プラグ、イリジウムIXプラグを含む片貴金属プラグ	イリジウムMAXプラグを含む両貴金属プラグ	プレミアムRXプラグ
四輪車	15,000~20,000km	~100,000km※2	~120,000km※2
軽自動車	7,000~10,000km	~50,000km※2	~60,000km※2
二輪車	3,000~5,000km	—	—

※1 記載の交換距離の目安はおおよその目安です。お車の特性または使用環境によって異なります。
※2 荷物を多く運搬するお車や、チューニング車、同時点火コイル（両極性電源）採用車等では交換距離の目安が短くなる場合があります。

製品寿命はスパークプラグの消耗が進み放電しなくなる状態です。

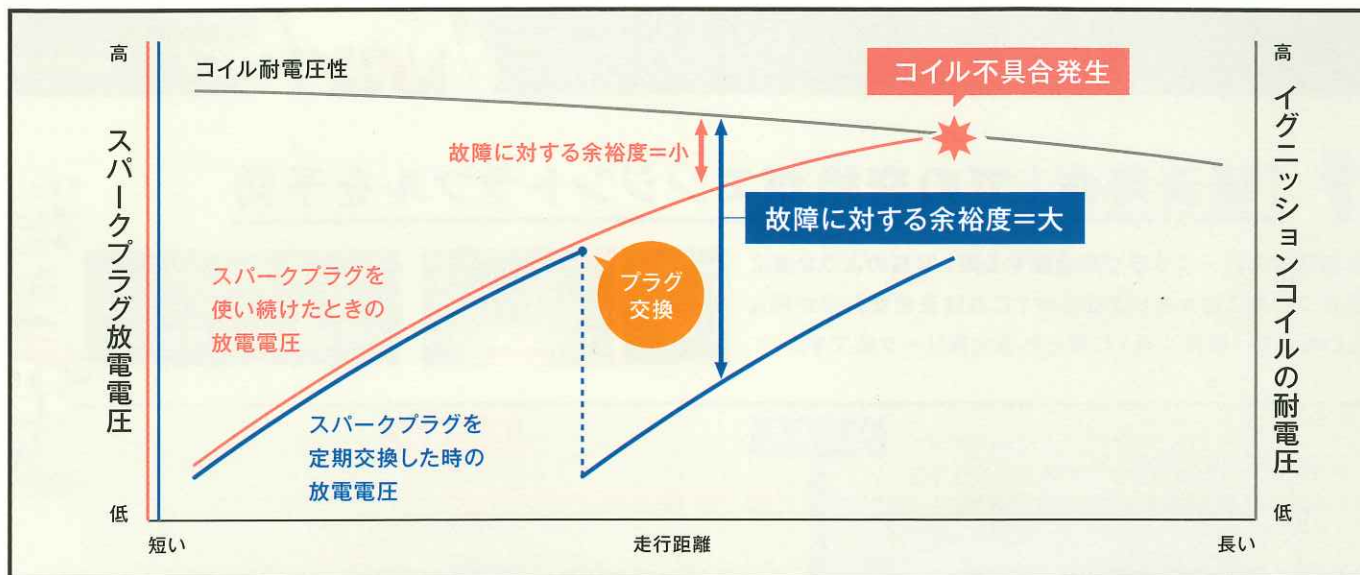
経済寿命を過ぎると、加速性が落ちる、燃費が悪くなる、アイドリングが不安定になる、有害物質の排出が増えるといった影響があります。



当社は経済寿命でのスパークプラグの交換を推奨しています。

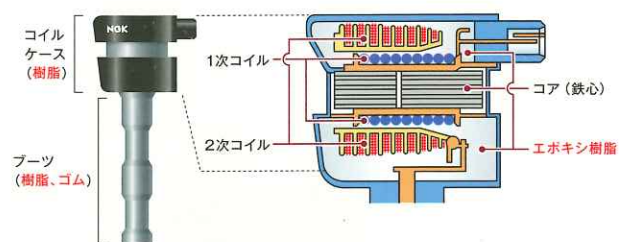
2 「経済寿命」でのスパークプラグ交換が イグニッションコイルの故障リスクを低減

イグニッションコイルは走行距離に応じて、エンジンの熱や振動を受け、耐電圧性が低下していきます。耐電圧性が低下すると故障につながります。スパークプラグを新品に交換することで、放電電圧が低下し、コイル発生電圧が下がるため、イグニッションコイルの故障を抑制します。



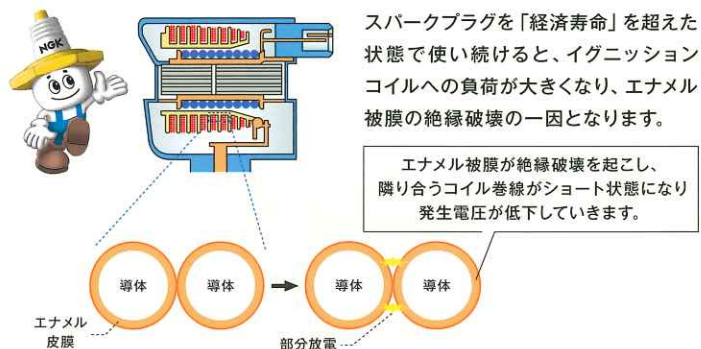
イグニッションコイルの劣化で発生する故障

① 絶縁材料劣化（高電圧リーク）



イグニッションコイルに使用されている絶縁材料（樹脂、ゴム）が劣化すると、1次コイルと2次コイル・コア（鉄心）、それらの構成部品間の絶縁性能が低下し、高電圧がリークします。

② エナメル被膜劣化（レイアーショート）



3 お客様からの信頼を「全気筒交換」

もしイグニッションコイルが1気筒故障した場合、全気筒同様に劣化が進み、別の気筒でも故障が発生する可能性が高くなっています。当社はイグニッションコイルの故障時の全気筒交換を推奨しています。また、放電電圧を下げるため、プラグの全気筒交換もあわせて推奨しています。



愛車のベストパフォーマンスを引き出す信頼のNGKブランド

NGKプレミアムRXプラグ

着火性、燃焼効率性、耐汚損性、耐消耗性のトータル性能を極めた次世代プラグ。

NGK SPARK PLUG
Premium RX

NGKイグニッションコイル

長年の歴史で培った点火系の高度な技術と、厳しい品質基準を反映したイグニッションコイル。スパークプラグの性能を最大限に引き出します。

NGK IGNITION COILS

下記ホームページから、NGKスパークプラグ/イグニッションコイルの詳細情報や適応一覧がご確認いただけます。



<http://www.ngk-sparkplugs.jp>

NGKプラグスタジオ

検索